

推 進 施 策	6-1 人権学習・啓発の推進				No.	64
事 業 名	指導者の養成				担当課	社会教育課
事 業 概 要	人権教育の指導者育成のため、関連する研修会への参加を推進します。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	市職員・市教職員					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	指導者の養成・資質向上、指導力の強化を図る。					
具 体 施 策 (Plan)	四国地区人権教育研究大会 徳島県人権教育研究大会 全国人権・同和教育研究大会 北部ブロック社会人権教育啓発研修会などに参加					
令和 7 年度 事業実績状況 (Do)	○第72回四国地区人権教育研究大会 愛媛県 17名参加 ○第76回徳島県人権教育研究大会 アスティとくしま 7名参加 ○第76回全国人権・同和教育研究大会 兵庫県・大阪府 8名参加 ○北部ブロック社会人権教育・啓発推進者研修会 担当：上板町 1名参加 ○第46回徳島県人権教育・啓発夏期講座 あわぎんホール 6名参加 ○第46回部落解放・人権徳島地方研究集会 第2分科会社会教育・啓発で発表					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☐ 増加		☒ 横ばい		☐ 減少	
	☐ かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☐ 十分寄与する		☒ 概ね寄与する		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
事 業 の 評 価 (Check)	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
	3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	職員をはじめ、多くの参加者確保ができるよう努める。
教育委員会評価 (二次評価)	職員をはじめ、多くの方に参加していただき、資質向上に努めてください。					

推 進 施 策	6-1 人権学習・啓発の推進	No.	65			
事 業 名	人権啓発事業の実施	担当課	社会教育課			
事 業 概 要	市民の人権意識の向上のため、国・県の「人権教育・啓発に関する基本計画」と連携を図りながら、「阿波市人権教育啓発に関する基本計画」に基づいて推進します。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 市民 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 人権意識の高揚					
具 体 施 策 (Plan)	人権啓発講座「心のリフォーム学級」(阿波市民対象) 阿波市人権フェスティバル(阿波市民対象) 市内企業職員人権研修会(吉野川安定所管内人権啓発企業連絡会) 児童・生徒人権作品集配布(阿波市内小中学校児童・生徒と希望者)					
令和 7 年度 事業実績状況 (Do)	○人権啓発講座「心のリフォーム学級」(阿波市民対象) 講師2人(6月・7月、9月は映画会)延べ253名 ○阿波市人権フェスティバル(阿波市民対象)延べ398名 ○市内企業職員人権研修会(吉野川安定所管内人権啓発企業連絡会)開催地; 吉野川市 ○児童・生徒人権作品集配布(阿波市内小中学校児童・生徒と希望者)					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☐ 増加 ☒ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性 3	有効性 3	効率性 3	達成度 3	総合評価 B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	令和8年度からは人権フェスティバルに代わり、新たに「阿波市人権週間」(仮称)を設けて、研修会、映画会、人権作品の展示、図書館では人権コーナーを設置するなどして人権啓発に努める。		
教育委員会評価 (二次評価)	今後も市民が参加しやすい事業や講座を開催し、人権意識の高揚に努めてください。					

推 進 施 策	6-2 人権学習子ども会（ばあわーあっぷ事業）の推進				No.	66
事 業 名	ばあわーあっぷ事業				担当課	社会教育課
事 業 概 要	人権尊重の精神を育成するとともに、基礎学力の定着や生活の質の向上を図ります。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	学習交流会に参加する児童生徒及びその保護者					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	「ばあわーあっぷ」という名称には、阿波市の【あわ】と、学力定着・学力向上・人権学習を主とし【子どもたちのパワーアップ】の願いが込められています。					
具 体 施 策 (Plan)	学習交流会に参加する児童生徒を対象に教科学習・人権学習を実施する。その他人権フェスティバル（手話コーラス）への参加・人権学習遠足・人権研修等を予定している。					
令和 7 年度 事業実績状況 (Do)	○人権教育学習を中心に実施している。人権フェスティバル（手話コーラス）への参加を積極的に行った。また、年2回ばあわーあっぷ保護者会を開催して情報交換を行っている。指導員も熱意を持って指導にあたり、児童・生徒との信頼関係を築いている。 ○ばあわーあっぷ参加者数 令和7年度78名 令和6年度66名 令和5年度46名					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☒ 増加		☐ 横ばい		☐ 減少	
	☐ かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☒ 十分寄与する		☐ 概ね寄与する		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
事 業 の 評 価 (Check)	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
	☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
	4	4	3	3	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	ばあわーあっぷ参加者数は年によってばらつきはあるが、児童生徒だけでなく地域の方や学校からのニーズは高いので、引き続き、放課後学習や人権教育などに取り組んでいく。
教育委員会評価 (二次評価)	今後も引き続き、児童生徒との信頼関係の構築と、人権学習、学力支援に努めてください。					

推 進 施 策	6-3 国際感覚豊かな人材の育成と国際交流活動	No.	67		
事 業 名	英会話教室の開催	担当課	社会教育課		
事 業 概 要	初心者向け講座や中級者向け講座を開催します。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	市民				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	英会話教室を通じて国際交流についての関心を高め、理解する。				
具 体 施 策 (Plan)	英会話教室の開催				
令和 7 年度 事業実績状況 (Do)	○外国語指導助手(ALT)4名を講師とする英会話教室を市内4か所で開催 受講生62名(初級45名 中級17名)開催数136回(4地区計)				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☐ 増加		☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する		☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている		☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている		☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	担当者、ALT、参加者間の連絡体制について、個人情報にも配慮したうえでSNSの活用を検討する。	
教育委員会評価 (二次評価)	英語が身近なものになるよう、また多くの方が気軽に参加できるよう計画を進めてください。				

推 進 施 策	6-3 国際感覚豊かな人材の育成と国際交流活動	No.	68				
事 業 名	国際交流の推進	担当課	社会教育課				
事 業 概 要	各関係機関と協議・検討に努めます。 市民と、在留外国人との交流活動を支援します。						
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)						
	市民						
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)						
	関係機関の情報提供や外国語講座を通じて、市民の自主的な国際交流活動を支援する。						
具 体 施 策 (Plan)	市民ニーズに応じた外国語講座等の実施により、国際交流活動の推進を図る。						
令和 7 年度 事業実績状況 (Do)	○中国語講座(阿波市生涯学習講座) 受講生9名 開催数9回 (再掲) ○外国語指導助手(ALT)4名を講師とする英会話教室を市内4か所で開催 受講生62名(初級45名 中級17名)開催数136回(4地区計)						
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)						
	○増加	●横ばい	○減少				
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)						
	○十分寄与する	●概ね寄与する	○あまり寄与していない				
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)						
	○十分できている	●できている	○あまり寄与していない				
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)						
	○十分できている	●できている	○あまり寄与していない				
	○十分できている	●できている	○あまり寄与していない				
事 業 の 方 向 性	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
	3	3	3	3	B		
事業の方向性	○ さらに重点化する ● 現状のまま継続する ○ 見直しのうえ継続する ○ 事業の縮小を検討する ○ 休止・廃止を検討する					課題や今後の方針 (Action)	市民と外国人との国際交流活動を支援するための外国語講座やふれあい事業の実施、情報提供に努める。
教育委員会評価 (二次評価)	気軽に市民と外国人が参加できるよう、講座の充実に取り組んでください。						